

新潟県ウエイトリフティング協会 スポーツ団体ガバナンスコード＜一般スポーツ団体向け＞の遵守状況について

※当協会が定める規則等のうち、公開可能なものについては、次のページにて公開している。 <https://niigatawlas.cloudfree.jp/>

項目 通し番号	原則	自己説明項目	対応 状況	自己説明（現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等）
1	[原則1] 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。		法人格を有しないので、これには該当しない。
2	[原則1] 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	A	新潟県ウエイトリフティング協会は、会則を定めて団体としての組織を備え、代表の決定や財産管理等の団体としての主要な事項を確定している。 総会は毎年度1回3月に会長が招集し、事業計画、予算、決算の承認のほか、会長提案事項の審議又は承認を行っている。 また、財産の管理・運営は、専用の口座を用い、財産を分別して管理・運営を行っている。
3	[原則1] 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A	適用される法令等を遵守して事業運営を行っている。 新潟県ウエイトリフティング協会が主催または共催する競技大会において公共施設を使用する場合は、当該施設の使用に関わる規則を事前に把握し、安全管理を最優先に競技の運営を行っている。
4	[原則1] 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	A	規約に定める常任理事16名の役員体制を整えている。 常任理事会において決算書類及び事業報告の承認手続きを行うとともに、総会は毎年度1回3月に会長が招集し、事業計画、予算、決算の承認のほか、会長提案事項の審議又は承認を行っている。 また、各種専門委員会に常任理事を配置することにより、専門的に事業運営を行い、事業の課題にも対応することが可能である。
5	[原則2] 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	C	当協会のホームページ上で情報発信を行っているが、組織運営の基本方針の公表は現在していない。

項目 通し番号	原則	自己説明項目	対応 状況	自己説明（現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等）
6	[原則3] 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	(1) 役職員に対し コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B	常任理事会では、コンプライアンス事項の報告や議題に上がる場合は、それを組織で共有している。 当協会は、コンプライアンス教育は不十分であるため、役職員を対象としたコンプライアンス研修の実施を検討する。
7	[原則3] 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B	当協会の審判委員会が競技大会や強化練習会時に指導者、選手に対して、コンプライアンス啓発の一環として競技規則の遵守に関する事項伝達は行っている。 国スポに出場する監督・コーチ・選手に対し日本アンチドーピング機構によるドーピング防止教育を実施している。 指導者向けには新潟県スポーツ協会が発信する、コンプライアンスの遵守、スポーツ・インテグリティの向上、ハラスメント防止等をテーマとした講習会の案内を提供しているが、協会揃っての受講は行っていない。
8	[原則4] 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	A	財産の管理・運営は専用の口座を用い、財産を分別して管理・運営を行っている。
9	[原則4] 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	A	補助金交付要綱等の規程に沿って適切に処理し、助成先の監査を受けている。 公的助成の受給に当たっては、公的助成の実施主体が定める実施要項の内容を十分に確認し、遵守すべき事項に則り適切に執行し、助成先の監査を受けている。
10	[原則4] 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A	会計処理は、事業計画対象以外のものは常任理事会に諮り、適切な情報共有を行った上で行っている。 常任理事会において決算書類及び事業報告の承認手続きを行うとともに、複数の者がチェックできる体制を整え、総会においても予算、決算の承認を行っている。

項目 通し番号	原則	自己説明項目	対応 状況	自己説明（現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等）
11	[原則5] 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	A	当該年度の事業報告、決算書等を常任理事会及び総会において報告している。 また、国民スポーツ大会と北信越国民スポーツ大会の選手選考方法は、基準記録と選考基準を明文化して定め、年度初めに開示している。ホームページでの開示は行っていない。
12	[原則5] 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	A	新潟県ウエイトリフティング協会のホームページにおいて、各種事業の情報を開示している。 今後は、組織運営に関わる情報を整え、開示をしていく。
13	[原則6] 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合ガバナンスコード<中央競技団体向け>の個別の規定についてもその遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<中央競技団体向け>の規定があるか。 (ある場合は下記に記述) 原則■について		特記事項なし
14	[原則6] 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合ガバナンスコード<中央競技団体向け>の個別の規定についてもその遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<中央競技団体向け>の規定があるか。 (ある場合は下記に記述) 原則■について		特記事項なし

○公表の際は、このExcelファイルをPDF等に変換し、自身のウェブサイト等で公表してください

＊「対応状況」欄には、下記 A B C のいずれかを記載ください。

【対応状況に係る自己評価】

- A：対応している
- B：一部対応している
- C：対応できていない